

短歌大募集

入選作品（小学生の部）

順不同

はるがきた こうぼう山に さくらさく

さあはなみだよ こころにのこる

原 輝月（中山小学校三年）

春がきた さくらの花は ゆれていて

ゆらゆらゆらと きもちよさそう

横林千之介（中山小学校三年）

はるはねえ さくらできれい さわやかだ

こうぼうやまが ピンクでまんかい

小林 小夏（中山小学校三年）

さあいこう すいとうもって おはな見に

さくらさいたら みんなで見よう

百瀬 菜那（中山小学校三年）

さくらさく 木にはさくらが まんかいだ

きれいなとりが とんで来ました

松田 航亮（中山小学校三年）

春が来た 桜満開 外見れば

弘法山が ピンク一色

藤森 月希（筑摩小学校六年）

毎春の ピンクに変わる こうぼう山

春が過ぎると 心がさみしい

坂本 達哉（筑摩小学校六年）

ひらひらと 一つ一つの 花びらが

春がきたこと 教えてくれる

関崎 凧紗（筑摩小学校六年）

弘法山 ピンクの服が かわいいね

まだ着がえないでね 緑の服に

小松 愛佳（筑摩小学校六年）

夕ぐれの 桜見てたら 赤くなり

こうぼう山も いちごみたいだ

黒田 隼矢（筑摩小学校六年）

朝焼けに てらされ輝く ピンク色

弘法山に 春のおとずれ

犬飼 優（筑摩小学校六年）

やまざくら ひとつのこらず さきほこり

やまぜんたいが たいぼくみたいだ

唐澤 美羽（筑摩小学校六年）

学校の 窓から見える 弘法山

春の衣装が 一番素敵

古田 ことの（筑摩小学校六年）

散歩をし 弘法山を 見ていると

桜満開 だんごに見える

赤羽 大夢（筑摩小学校六年）